

町内3小学校の親睦と交換を深め自己の記録へ挑戦！
「第47回 只見町小学校体育交歓会」開催

9月29日、町内各小学校児童の親睦と交歓を深める陸上競技「小学校体育交歓会」が町下運動広場を会場に行われ、只見・朝日・明和小学校の5・6年生約70名が参加しました。今大会では、朝日小6年の山田夢空さんが100m・走り幅跳び・リレーの3種目で3冠に輝き、100mに関しては昨年に引き続き2連覇を達成しました。また、明和小6年の菊地新大くんや只見小6年の鈴木詠大くん、只見小6年の大竹未桜さんがそれぞれ2冠を達成しました。

大会の入賞記録は下記のとおりです。



▲3冠に続き100mで2連覇を達成した朝日小6年の山田夢空さん



▲ハードルと走り高跳びを制した大竹未桜さん



▲1000m優勝とリレーの優勝に貢献した鈴木詠大くん



▲圧倒的な速さで男子100mを制した明和小6年の菊地新大くん

第47回 只見町小学校体育交歓会 入賞記録一覧表(3位まで)

	種目	1000m(男子) 800m(女子)	100m	80mハードル	4×100m リレー	走り幅跳び	走り高跳び	ソフトボール投げ
男 子	1	鈴木 詠大(只・6) 3分25秒9	菊地 新大(明・6) 14秒1	目黒 琳太郎(明・5) 15秒4	只見A 1分01秒8	菊地 新大(明・6) 414cm	酒井 怜斗(只・6) 113cm	目黒 悠斗(朝・5) 43m95cm
	2	五十嵐 零生(只・5) 3分36秒7	目黒 咲翔(朝・5) 15秒8	新國 蒼空(只・5) 15秒6	明和A 1分03秒5	新國 蒼空(只・5) 390cm	三瓶 創大(朝・6) 100cm	目黒 元基(只・6) 39m79cm
	3	山内 太喜(只・6) 3分40秒4	目黒 元基(只・6) 17秒1	酒井 怜斗(只・6) 16秒4	只見B 1分07秒3	鈴木 詠大(只・6) 382cm	渡部 悠行(朝・5) 95cm	三瓶 奨悟(朝・6) 36m12cm
女 子	1	山中 美紅(朝・6) 2分57秒9	山田 夢空(朝・6) 15秒1	大竹 未桜(只・6) 15秒7	朝日A 1分03秒3	山田 夢空(朝・6) 385cm	大竹 未桜(只・6) 115cm	五十嵐 陽菜(只・6) 37m26cm
	2	齋藤 椿(只・5) 3分08秒5	岩佐 乃杏(朝・5) 15秒6	本名 真歩(朝・6) 16秒0	明和A 1分06秒8	岩佐 乃杏(朝・5) 322cm	山中 美紅(朝・6) 113cm	梁取 もも(明・6) 36m49cm
	3	三瓶 心乃花(明・6) 3分11秒1	梁取 もも(明・6) 15秒7	五十嵐 杏(只・6) 16秒1	只見A 1分07秒8	山本 愛佳(明・6) 322cm	印南 蒼羽(明・6) 110cm	三瓶 なつめ(明・5) 29m38cm

※氏名(学校名・学年)です。なお、学校名は只/只見小学校、朝/朝日小学校、明/明和小学校の略です。

過去最多の45チームが参加
第55回 只見町駅伝競走大会



▲午前10時、町下の教育委員会前を一齐にスタートする45チームの選手の皆さん



▲力走を見せる只見ランナーズの目黒文雄選手

10月15日、只見町体育協会などが主催する「第55回只見町駅伝競走大会」が行われました。今年は町内外から過去最多となる45チームが参加し、日頃鍛えた健脚を競いあいました。雨模様の中行われた大会では、町下の教育委員会前を起点に長浜・亀岡・小林地区を折り返す3コースで開催されました。開会式で鈴木好行体育協会長は「今年は昨年を上回る45チームの参加があり、大変感謝しております。それぞれの目標タイムに向かって頑張ってください」と挨拶されました。午前10時に45チームが町下の教育委員会前を一齐にスタートし、全チームが棄権することなくゴールしました。大会の成績とレースの模様をご紹介します。



▲タスキを繋ぐ只見中駅伝部女子チームの三瓶日麻莉選手と馬場遊茶選手

大会成績(上位3位まで)

◆中学生男子の部

- 1位 若松四中
- 2位 南会津中A
- 3位 只見中駅伝部男子

◆中学生女子の部

- 1位 若松四中
- 2位 若松三中駅伝部
- 3位 只見中駅伝部女子

◆一般女子の部

- 1位 南会津高校C
- 2位 うるわし☆レディーズ

◆男女混成の部

- 1位 金山ランニングクラブ
- 2位 南会津高校B
- 3位 荒海ロングランクラブ

◆一般男子の部

- 1位 南会津高校A
- 2位 会津中央病院Aチーム
- 3位 只見ランナーズ

大人気の「とん汁」コーナー



▲選手に大人気だったとん汁



▲おいしいとん汁を振る舞った食改、只見ランナーズの皆さん



▲笑顔でゴールした東京から初参加の「チーム只見ファン」宮崎哲夫選手

第11回市町村対抗福島県軟式野球大会

只見町が快進撃で初の「第3位」

県内59市町村の頂点を目指す「第11回市町村対抗福島県軟式野球大会」が行われ、只見町代表チームが初のベスト4・準決勝に勝ち進み、見事「第3位」という輝かしい成績を収めました。

今大会の只見町チームは、投手陣を中心とした固い守備力と5試合で



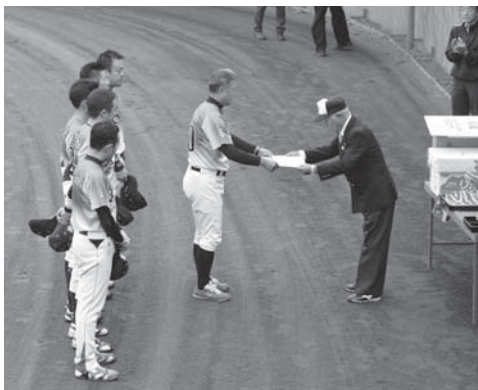
▲賞状やトロフィーなどをする選手の皆さんと町長・副町長

計31得点を挙げる高い得点力、そして2度のサヨナラ勝ちを収める勝負強さにより、初となるベスト4・準決勝にコマを進めました。10月15日の準決勝では矢吹町チームと対戦し、守りでは矢吹町を1安打に抑える好投をみせ、攻撃も相手を上回る4安打を放ちましたが、結果は惜しくも0-1で準決勝敗退となりました。

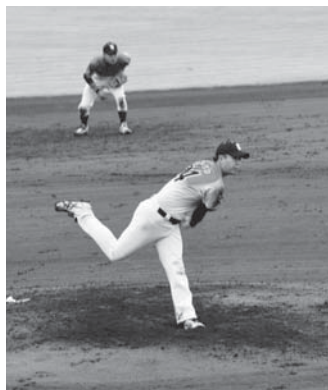
初の3位という結果に、監督の渡部智和さんは「只見町代表として3位という結果を残すことができ大変うれしい気持ちです。温かいご声援ありがとうございました」と話しました。

【試合結果】

- 1回戦 (9/10) 金山町戦
只見町 14-0 金山町※コールド勝ち
(大会第1号HR・長谷川佑樹)
- 2回戦 (9/23) 川俣町戦
只見町 2-1 川俣町※サヨナラ勝ち
- 3回戦 (9/31) 埴町戦
只見町 8-7 埴町※サヨナラ勝ち
- 4回戦・準々決勝 (10/1) 下郷町戦
只見町 7-2 下郷町
- 5回戦・準決勝 (10/15) 矢吹町戦
只見町 0-1 矢吹町



▲表彰を受ける渡部智和監督



▲力投を見せた大竹大和選手



▲マウンドに集まる監督と選手の皆さん

只見町の魅力を発信!

ふるさと大使との懇談会を開催

9月29日、町外在任の方が只見町の広報員として町の魅力をPRする「只見町ふるさと大使」の懇談会が只見振興センターで行われ、大使6名と町関係者6名が出席しました。

このふるさと大使は、関東や福岡県など全国から10名の方が任命されており、10月1日に3年目を迎えました。

懇談会では、菅家町長が「大使の皆さまには、只見町を広く宣伝していただき大変ありがたく思っています」と挨拶し、その後観光商工課と各大使の活動報告や意見交換が行われ、関係者との交流が深められました。



▲ふるさと大使に歓迎の挨拶を述べる菅家町長

JR東労組東京地本「結成30周年記念イベント」

只見町を会場に盛大に開催！

10月14、15日、JR東日本で働く社員で組織する「JR東労組東京地本本部」の結成30周年記念行事が開催され、只見町内各所を会場に様々なイベントが催されました。

これは、同労組が平成23年の新潟・福島豪雨で一部区間が不通となったJR只見線の復旧と存続を支援するため、平成27年から始めた「デステイネーション只見」の取り組みのひとつとして、今回の記念行事も只見町で開催したものです。記念行事には同労組の組合員約300名が只見町を訪れました。



▲町下運動場で行われた開会式で撮影されたJR東労組集合写真



▲今年の雪まつりでも共演した「天領只見仙嶽太鼓」と「よさこい隊」の演舞

10月14、15日、JR東日本で働く社員から菅家町長に10万円の寄附金が手渡され、15日には組合のサークル活動として只見町駅伝に参加した他、野球・サッカー・登山などの活動が行われました。夜には季の郷湯ら里の前庭で記念イベントが行われ、多くの町民が参加しました。会場には町内業者による出店が並び、ステージでは天領只見仙嶽太鼓やよさこい隊、天地人の演奏が披露され、会場は大いに盛り上がりました。

今回のイベントを通し、町民とJR東労組の交流が更に深まりました。

只見保育所で避難訓練を実施

女性消防班と職員が連携

10月17日、水害を想定した避難訓練が只見保育所で行われ、保育所全児童と只見町消防団女性消防班5名などが参加しました。この訓練は、地域や職員が連携して子どもたちの安全を守ることを目的に、只見保育所が主催したものです。訓練では、女性消防班が避難誘導組と避難所受入組に分かれ、子どもたちを保育所から避難所となる只見振興センターへ安全に避難させました。訓練の後半には女性消防班から避難の大切さを伝える紙芝居が披露され、子どもたちは「怖かったけど避難できて良かった」などと感想を話していました。



▲「押さない」、「戻らない」、「近寄らない」など避難で大切なことを伝えた女性消防班の皆さん

「八十里越交流事業」開催

三条市との地域間交流を深める

10月18、19日、只見町商工会と新潟県三条市下田商工会が主催する「八十里越交流事業」が只見町を会場に開かれ、南会津郡内や奥会津地域、三条市の関係者など約80名が参加しました。

この交流事業は1年ごとに互いの地域を会場に国道289号八十里越工事区間を利用して地域間交流を行うもので、今年は八十里越工事区間の進捗状況の確認や町内の六次産業業会社「合同会社ねっか奥会津蒸留所」の視察が行われました。その後、季の郷湯ら里を会場に「交流懇談会」が行われ、地域間の交流がより一層深まりました。



▲「八十里越峠の全線開通と広域交流について」をテーマに協議した懇談会